



「マイエチケット袋」持参のお願い

感染性胃腸炎、その他の体調不良、食べ過ぎ、詰め込みすぎ、急いで食べた、食べた後に思い切り走った等、学校では子どもたちがおう吐する場面が多くあります。

おう吐物で洋服や教科書等の持ち物が汚れたり、臭いでもっと具合が悪くなってしまったり、周りの子どもたちが不快な思いをしたり、おう吐物の処理のために授業が中断したりと、本人も周りもいいことはありません。また、感染症が原因のおう吐の場合は、集団感染の原因となってしまうます。

吐き気がした時には、すぐにエチケット袋を出してエチケット袋におう吐できると、上記のようなことが起きずに済みます。

1年間を通して1人が1枚以上、必ずエチケット袋を常備するよう、ご協力をお願いします。

*エチケット袋は、お道具袋の中に入れておきます。

長期休みでお道具袋を持ち帰った場合も、新学期には必ず持たせるようご協力ください。

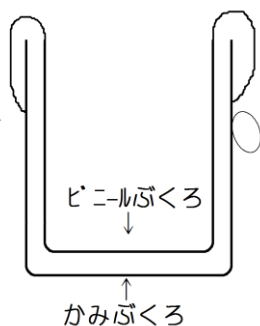
*エチケット袋を使ってしまったときは、新しい物を持たせてください。

*校外学習(バス乗車)の時は別のものを用意し、1枚は必ず学校に常備してください。

「エチケット袋」の作り方

★名前を書いておきましょう

ビニール袋^{がくつ}を
お折^{かえ}り返したら、
テープでとめて
おくと、口元^{くちもと}が
すっきりして吐
きやすいです



エチケット袋はすぐに出せるように、
お道具袋の中に入れておくように
しましょう。

吐き気がしたら、すぐにエチケット袋
を出して吐く準備ができるよう、家でも
練習しておいていただけると、いざ
という時に落ち着いて行動できます。

★内側はビニール袋、外側はおう吐物が見えないように紙袋を重ねます。

★中に入れるビニール袋はレジ袋だとうまくおさまらず、口元がもたつきます。
持ち手がついていない普通のビニール袋がおすすめです。

★お子さまの口の大きさに合わせ、大きすぎず、小さすぎず、ジャストサイズの
『マイエチケット袋』をご用意ください。